

第一コリントの信徒への手紙クラス 「十字架の言葉は神の力です」

第一コリント1:18



東京キリストの教会

クラス3

神殿についての革命的な考え方

5章：パン種之力

6章：関係修復

7章：結婚について

8章：自由の権利

神殿についての革命的な考え方

第一コリント 3章 16－17節

あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。神の神殿を壊す者がいれば、神はその人を滅ぼされるでしょう。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたはその神殿なのです。

神殿についての革命的な考え方

第一コリント 6 : 19 - 20

知らないのですか。あなたがたの体は神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

神殿についての革命的な考え方 福音書から

ヨハネの福音書2章19－21

イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」

それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。

イエスの言われる**神殿**とは、御自分の**体**のことだったのである。

神殿についての革命的な考え方

- つまり神は神殿などには宿らない。
- 神の霊は建物などに宿らず一人一人のクリスチャンの中にいる。
- 私達の身体は神聖なものである。

ギリシャ人の神殿への思い

- 複数の神々がいた。それぞれの神々の神殿があった。
- 多くの場合、神殿のスケールは偉大だった。
- 神々にふさわしいと思われるような神殿を建設をした。
- クリスチャン又はユダヤ人から見ると道徳的に乱れている信仰であったので、神殿での行いもそれを表した。

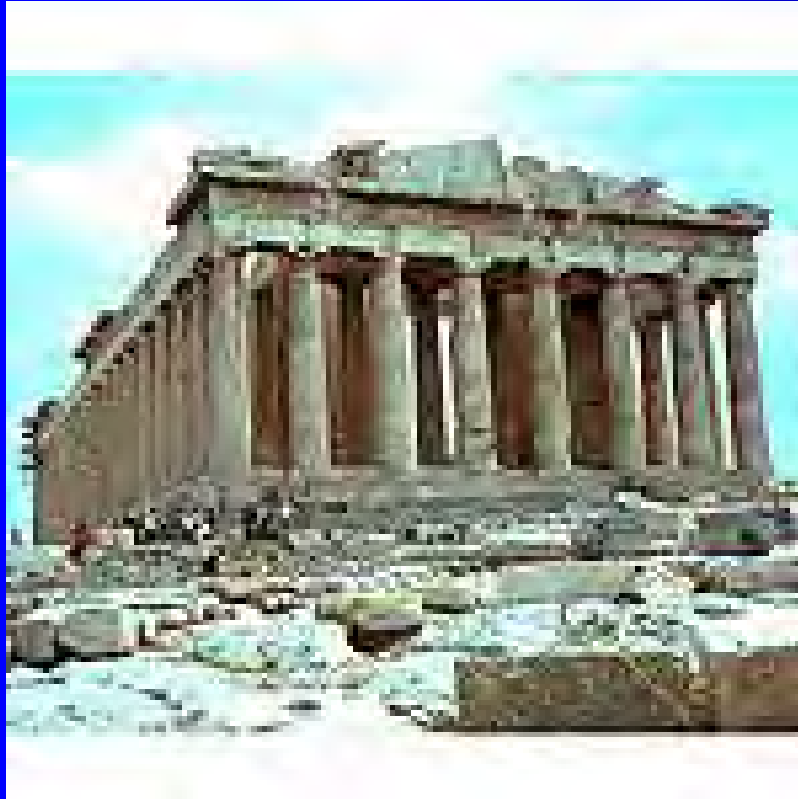
コリント：アポロの神殿



アテネ：パルテノン



アテネ：パルテノン



エフェソ：女神アルテミの神殿 世界の七不思議の一つ



エフェソ: 女神アルテミの神殿

中の広さ 105メートル X 55メートル
全部で127本の柱、20メートルの高さ
全て大理石でつくられた



柱の一部

エフェソ：女神アルテミの神殿



ユダヤ人の神殿

1) ソロモンの神殿 953 BC ~ 586 BC

2) ゼルバベルの神殿

3月12日、515 BC 開会式

3) ヘロデの神殿 19 BC ~ 70 AD

(ヨハネ2章によると建設は46年かかった)

AD 70年に神殿を含めエルサレムが崩壊

ソロモンの神殿

9 5 3 BC ~ 5 8 6 BC

ソロモン王によって建てられた。

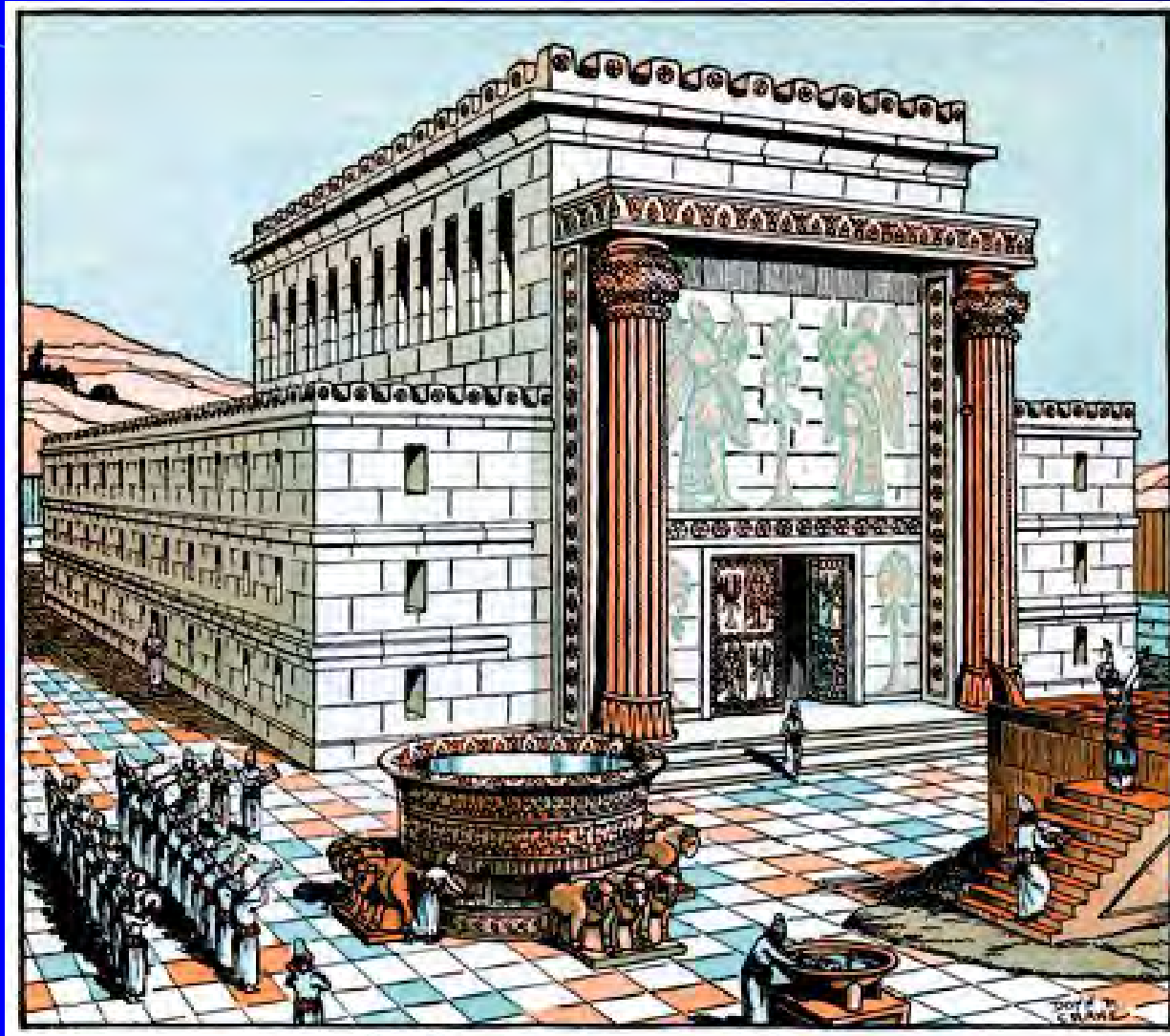
ダビデ王が建てたかったがあまりにも血を流すことが多かったので神様は許されなかった。

イスラエル黄金時代の象徴であった。

5 8 6 年バビロニアのネブカドネゼル王により完全に崩壊された。

ソロモンの神殿
953 BC ~ 586 BC

9 5 3 BC ~ 5 8 6 BC



ソロモンの神殿

9 5 3 BC ~ 5 8 6 BC



ゼルバベルの神殿

3月12日、515BC 開会式



バビロニア捕囚の約70年後、預言者エレミヤの言葉通りゼルバベルを始めエルサレムの再建に望んだ最初のグループがペルシアのキュロス王に許され第二の神殿を建てた。しかしソロモンの神殿には至らなかった。

ヘロデの神殿

19 BC ~ 70 AD

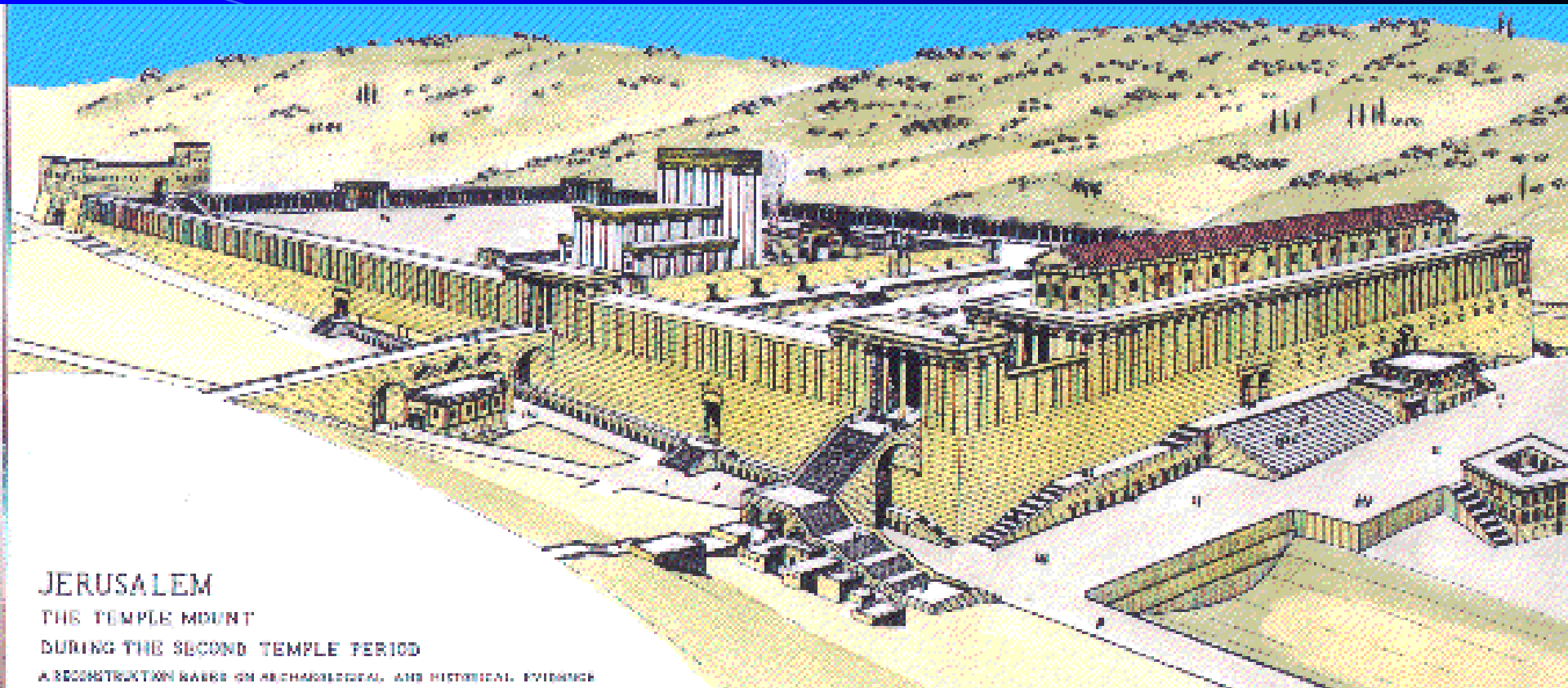
イエスが生まれた時のヘロデ大王（イスラエルの男の乳児を皆殺しにするように命令した王）歴史に残りたいため、ゼルバベルが再建した神殿を大いに改築。

完成するのに46年かかった。

70年エルサレムの崩壊と共に完全に崩壊。

ヘロデの神殿

19 BC ~ 70 AD



JERUSALEM

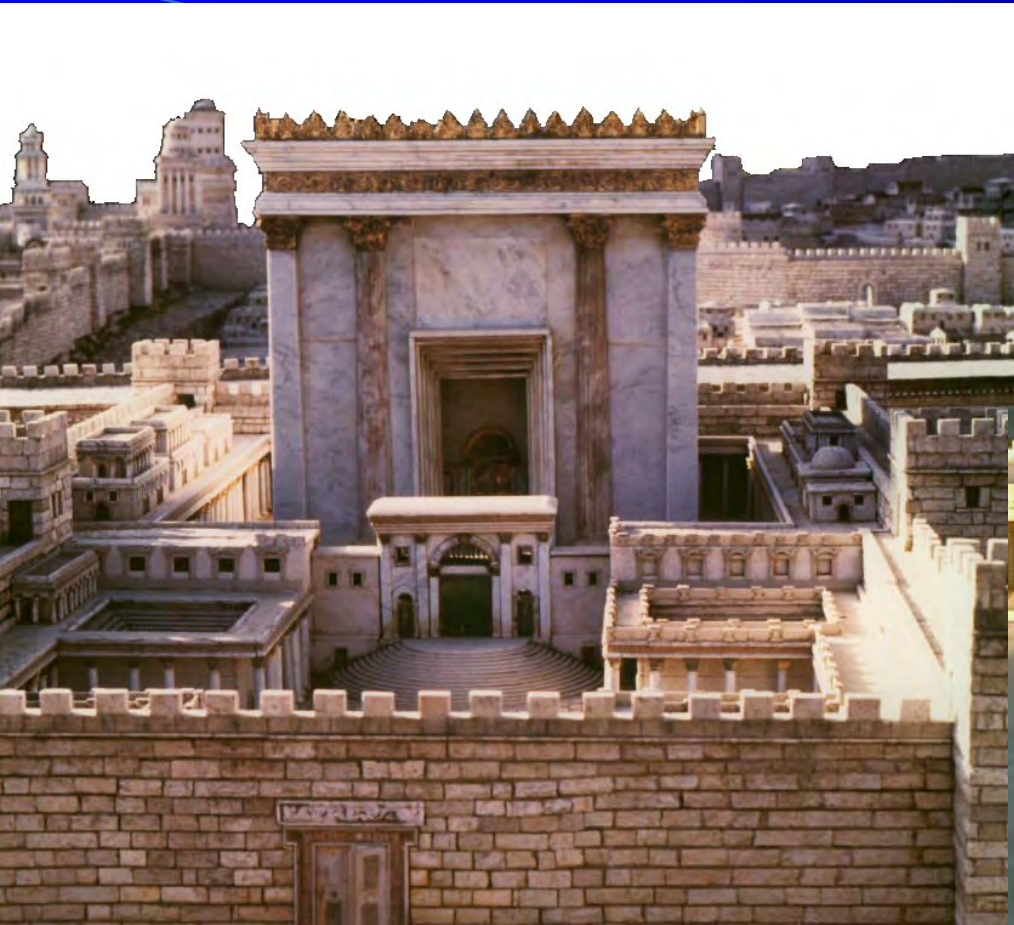
THE TEMPLE MOUNT

DURING THE SECOND TEMPLE PERIOD

A RECONSTRUCTION BASED ON ARCHAEOLOGICAL AND HISTORICAL EVIDENCE

ヘロデの神殿

19 BC ~ 70 AD



ユダヤ人の神殿への思い

*聖地にある聖なる場所だった。神殿の至聖所は大祭司が一年に1回しか訪れることができないほど「神聖」な場所であった。

*神様の霊が宿る場所だと思われていた。

ユダヤ人の神殿への思い

- 587BCで行われたディアスポラの結果、世界中にユダヤ人が住み、それぞれの都市に会堂を設立した。
- しかし、会堂には神の霊がいると全く思われていなく、神様を思い出すために集める場所のみであった。
- そのため五旬祭を始め他の祭りの時にユダヤ人は全員エルサレムへ行った。
- 法律としてユダヤ人は90日間でエルサレムに旅できるところに住むことが義務付けられていた。

まとめ

- 人間の体が神様の霊を宿るものだという考えは革命的だったと同時にギリシャ人、又はユダヤ人にとっては愚かなメッセージだったはず。
- これも十字架の力を思い起こさせること。

第一コリントの信徒への手紙クラス
「十字架の言葉は神の力です」
第一コリント 1 : 18
クラス 3

神殿についての革命的な考え方

- 5章：パン種の力
- 6章：関係修復
- 7章：結婚について
- 8章：自由の権利

神殿についての革命的な考え方

第一コリント 3章 16－17節

あなたがたは、**自分が神の神殿であり**、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。神の神殿を壊す者がいれば、神はその人を滅ぼされるでしょう。神の神殿は聖なるものだからです。あなたがたはその神殿なのです。

第一コリント 6 : 19－20

知らないのですか。あなたがたの体は神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。

福音書から

ヨハネの福音書 2章 19－21

イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」それでユダヤ人たちは、「この神殿は建てるのに四十六年もかかったのに、あなたは三日で建て直すのか」と言った。
イエスの言われる神殿とは、御自分の体のことだったのである。

つまり神は神殿などには宿らない。
聖霊は私達の中に宿る。
神の霊は建物などに宿らず一人一人のクリスチャンの中にいる。

ギリシャ人の神殿への思い

複数の神々がいた。それぞれの神々の神殿があった。
多くの場合神殿のスケールは大きかった。
神々にふさわしいと思われるような建設をした。
クリスチャン又はユダヤ人から見ると道徳的に乱れている信仰であったので、神殿での行いもそれを表した。

ユダヤ人の神殿

- 1) ソロモンの神殿 953BC～586BC
- 2) ゼルバベルの神殿
3月12日、515BC 開会式
- 3) ヘロデの神殿 19BC～70AD
(ヨハネ2章では建設が46年かかったと)
AD70年に神殿を含めエルサレムが崩壊される

ソロモンの神殿

953BC～586BC

ソロモン王によって建てられた。

ダビデ王が建てることを望んだが、あまりにも血を流すことが多かったので神様はお許しにならなかった。

イスラエル黄金時代の象徴であった。

586年バビロニアのネブカドネゼル王により完全に崩壊された。

ユダヤ人の神殿への思い

*聖地にある聖なる場所だった。神殿の至聖所は大祭司が一年に1回しか訪れることができないほど「神聖」な場所であった。

*神様の霊が宿る場所だと思われていた。

紀元前587BCで行われたディアスポラの結果、世界中にユダヤ人が散ってそれぞれの都市に会堂を建設した。

しかし、会堂には神の霊がいると全く思われていなく、神様を思い出すために集める場所のみであった。

そのため五旬祭を始め他の祭りの時にユダヤ人は全員エルサレムへ行った。

法律としてユダヤ人は90日間でエルサレムに旅できるところに住むことが義務付けられていた。

まとめ

人間の体が神様の霊を宿るものだという考えは革命的だったと同時にギリシャ人、又はユダヤ人にとっては愚かなメッセージだったはず。

これも十字架の力を思い起こさせること。